

## ⑥神楽地域核拠点

### 【拠点の範囲】

大雪アリーナ付近の交差点を中心とした徒歩圏内（半径500m程度）で、区域の西側と南側は国道237号線沿道の近隣商業地域を含む街区、北側は神居3条通、東側は永隆橋通に囲まれた第2種住居地域・準住居地域を基本とした、神楽支所・公民館等の行政施設、クリスタルホールや大雪アリーナ等の文化施設、神楽小学校、神楽保育所などを含む範囲。

### 【拠点の現状】

#### [交通]

- 旭川駅までの所要時間：15分
- 路線バス：多数
- 都市間バス：なし
- JR：なし

⇒旭川駅に隣接しており、JR利用が容易であるに加え、路線バスの系統数・運行本数とも充実している。

#### [人口]

- 地域内人口：現在(H22) 16,229人 ⇒ 将来(H47) 9,960人
- 増減率(H47/H22)：61.4%
- 従業員人口(H26)：4,498人
- 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：27.7%

⇒新興住宅地が少なく、人口減少は比較的進む。工業地等がなく、就業地の有無の目安となる昼間人口相当率は他地域と比べ低い。

#### [機能] ※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

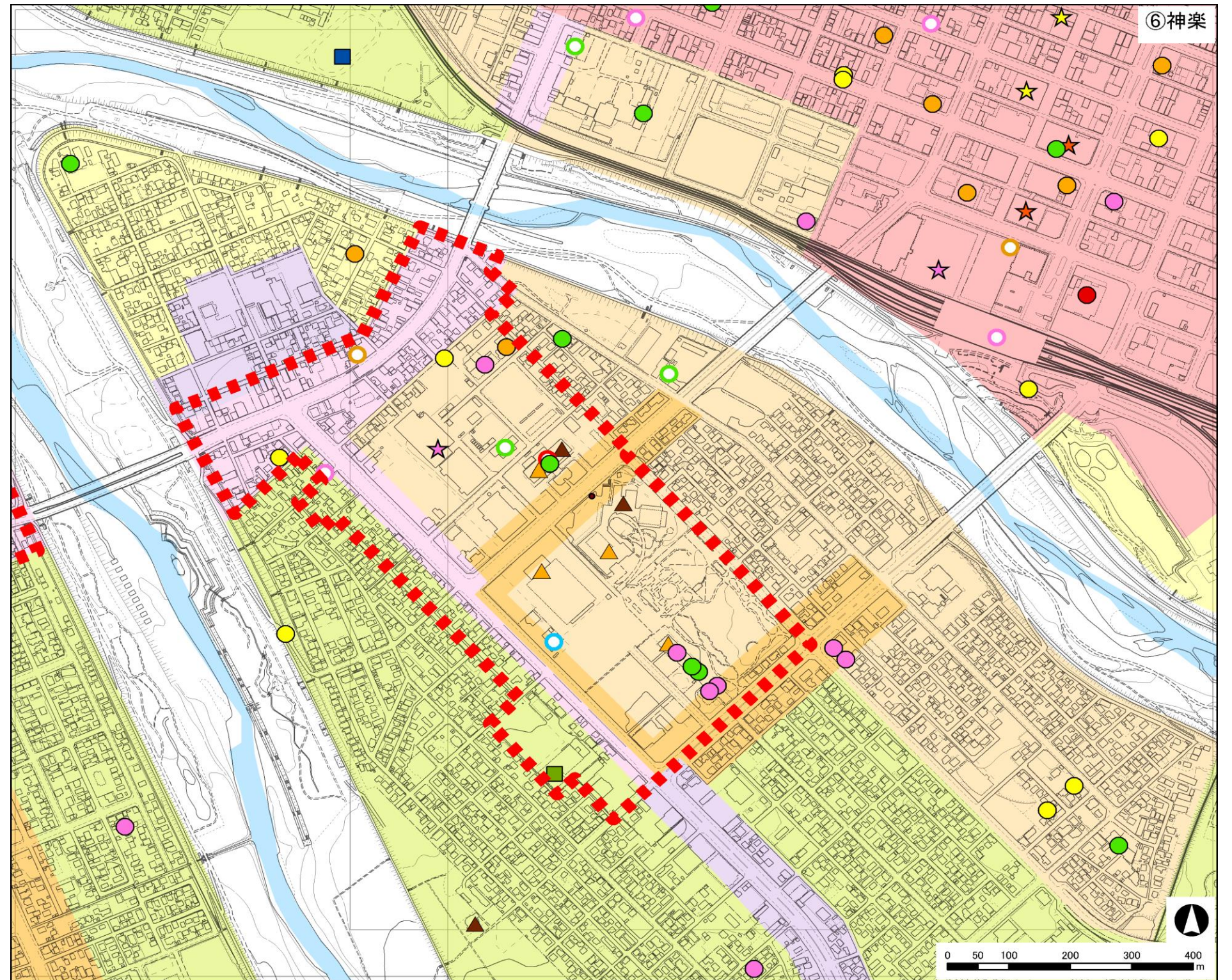
- 医療機能：病院×・診療所○
- 介護福祉機能：高齢者福祉○・障害者福祉○
- 子育て支援機能：保育所等○
- 商業機能：スーパー○・百貨店×
- 行政機能：市窓口○・道・国窓口△・公民館/地区センター○  
：警察署/交番○・消防署/出張所○
- 教育機能：小学校○・中学校×・高等学校×・大学/短大×
- 金融機能：郵便局○
- 文化機能：図書館○・記念館/博物館○・美術館×

⇒日常生活に必要な都市機能が揃っているほか、クリスタルホールや大雪アリーナなど中心市街地を補完する施設が多く立地している。

### 【拠点の特徴】

合併以前からの旧市街地で、都市機能や公共交通が充実しており、周辺の既成市街地の生活拠点及び地域コミュニティの拠点となっているほか、全市的な文化施設等も集積しており、中心市街地の一端を担っている。

**【区域分類】 ⇒ 中心市街地**



### 凡例

<b>医療機能</b>	<b>教育機能</b>	<b>商業機能</b>	<b>行政機能</b>	<b>金融機能</b>	<b>用途地域</b>
● 病院	■ 小学校	★ スーパー	○ 市の窓口	○ 郵便局	■ 第一種低層住居専用地域
● 診療所	■ 中学校	★ 百貨店	○ 道の窓口	▲ 文化施設	■ 第二種低層住居専用地域
	■ 高等学校	★ 寄合百貨店	○ 国の窓口	▲ 文化施設	■ 第一種中高層住居専用地域
<b>介護福祉機能</b>	■ 大学短大	★ 専門店	○ 警察署	▲ 子育て支援機能	■ 第二種中高層住居専用地域
○ 高齢者福祉施設	■ その他	★ スーパー・専門店	○ 消防署	○ 保育所	■ 第一種住居地域
○ 障害者福祉施設			▲ 公的集会施設	○ 幼稚園等	■ 第二種住居地域
					■ 準住居地域
					■ 近隣商業地域
					■ 商業地域
					■ 準工業地域
					■ 工業地域
					■ 工業専用地域
					■ 地域核拠点

## ⑦緑が丘地域核拠点

### 【拠点の範囲】

旭川工業高校付近の交差点を中心とした徒歩圏内（半径500m程度）で、神楽岡通沿道の近隣商業地域のほか、環状1号線及び神楽岡通沿道の第1種住居地域・第2種中高層住居専用地域を基本とした、旭川医科大学病院や緑が丘小・中学校・工業高校・医科大学等の教育施設、道営住宅などを含む範囲。

### 【拠点の現状】

#### 【交通】

- 旭川駅までの所要時間：15～30分
- 路線バス：5系統・運行149本・1時間当たり8.8本
- 都市間バス：なし
- JR：なし

⇒旭川駅までの所要時間が比較的長く、公共交通も路線バスのみであるが、拠点を中心に運行本数は比較的充実している。

#### 【人口】

- 地域内人口：現在(H22) 20,802人 ⇒ 将来(H47) 18,564人
- 増減率(H47/H22)：89.2%
- 従業員人口(H26)：6,507人
- 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：31.3%

⇒周辺に新興住宅地が多く、人口減少が比較的進まない。就業地の有無の目安となる昼間人口相当率は他地域と比べ標準的である。

#### 【機能】 ※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

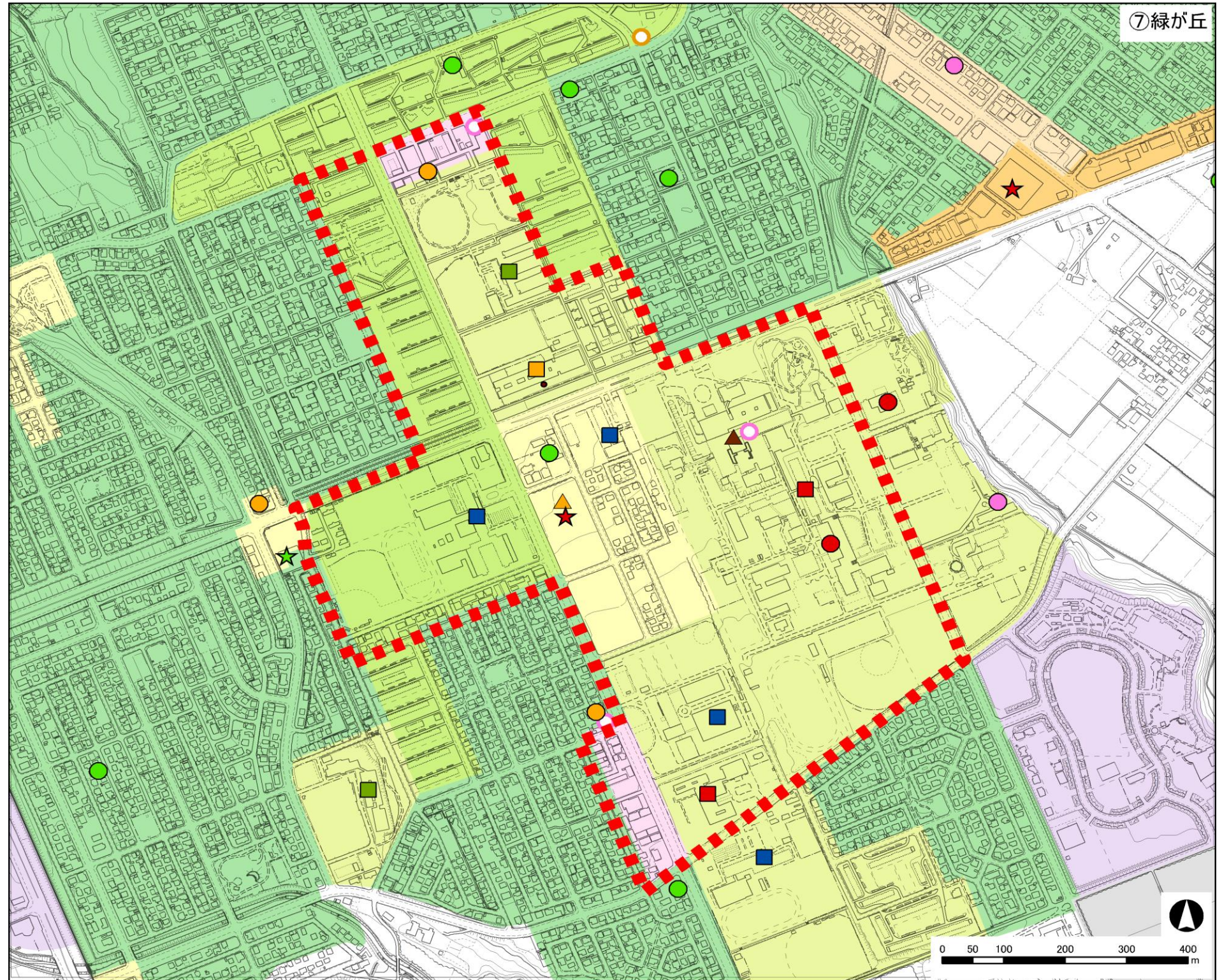
- 医療機能：病院○・診療所○
- 介護福祉機能：高齢者福祉△・障害者福祉×
- 子育て支援機能：保育所等○
- 商業機能：スーパー○・百貨店×
- 行政機能：市窓口×・道・国窓口×・公民館/地区センター○  
：警察署/交番△・消防署/出張所○
- 教育機能：小学校○・中学校○・高等学校○・大学/短大○
- 金融機能：郵便局○
- 文化機能：図書館○・記念館/博物館×・美術館×

⇒日常生活に必要な都市機能は概ね揃っているが、市窓口や障害者福祉施設が周辺に立地していない。医大病院や大学等の高次機能のほか、教育施設が多く立地している。

### 【拠点の特徴】

都市機能や公共交通が充実しており、周辺に広がる低層住宅地や公営住宅の生活拠点となっている。また、特定医療病院である医大病院をはじめ、医大や中小企業大学等の高等教育研究施設の立地、さらには、研究・開発業務地であるリサーチパークが隣接するなど広域的な拠点機能も備えている。

【区域分類】 ⇒ 地域核拠点（一般市街地型）



### 凡例

医療機能	教育機能	商業機能	行政機能	金融機能	文化機能	子育て支援機能	用途地域	近隣商業地域
● 病院	■ 小学校	★ スーパー	○ 市の窓口	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育所	第一種低層住居専用地域	近隣商業地域
● 診療所	■ 中学校	★ 百貨店	○ 道の窓口	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	第二種低層住居専用地域	商業地域
● 高齢者福祉施設	■ 高等学校	★ 寄合百貨店	○ 国の窓口	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	第一種中高層住居専用地域	準工業地域
● 障害者福祉施設	■ 大学短大	★ スーパー・専門店	○ 警察署	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	第二種中高層住居専用地域	工業地域
	■ その他		○ 消防署	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	第一種住居地域	工業専用地域
			▲ 公的集会施設	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	第二種住居地域	
				○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	準住居地域	
				○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等		● 地域核拠点

## ⑧西神楽地域核拠点

### 【拠点の範囲】

J R西神楽駅前を中心とした徒歩圏内（300m程度）で、国道237号線沿道の近隣商業地域を基本とし、地域の拠点施設である西神楽支所や農業改善センター、西神楽中学校を含む範囲。

### 【拠点の現状】

#### 【交通】

- 旭川駅までの所要時間：30～45分
- 路線バス：3系統・運行17本・1時間当たり1.0本
- 都市間バス：なし
- J R：1系統・38本

⇒旭川駅までの所要時間が長く、路線バスの運行本数も少ないが、J R（1時間当たり約2本）で、公共交通が補完されている。

#### 【人口】

- 地域内人口：現在(H22) 3,523人 ⇒ 将来(H47) 1,047人
- 増減率(H47/H22)：29.7%
- 従業員人口(H26)：860人
- 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：24.4%

⇒地域内人口が最も少なく、人口減少も著しく進む。農村部ということもあり、就業地の有無の目安となる昼間人口相当率は低い。

#### 【機能】 ※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

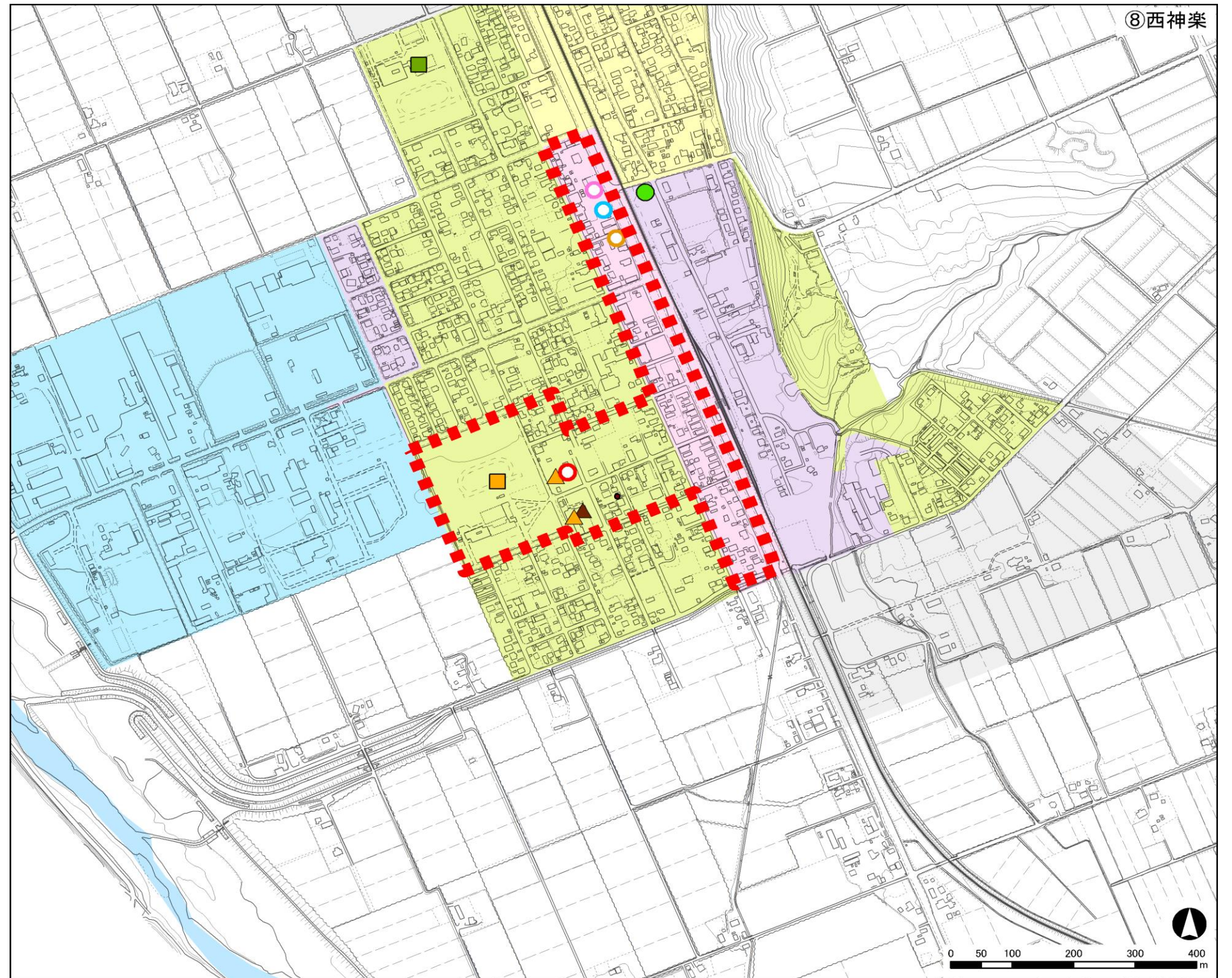
- 医療機能：病院×・診療所×
- 介護福祉機能：高齢者福祉×・障害者福祉×
- 子育て支援機能：保育所等△
- 商業機能：スーパー×・百貨店×
- 行政機能：市窓口○・道・国窓口×・公民館/地区センター○  
：警察署/交番○・消防署/出張所○
- 教育機能：小学校△・中学校○・高等学校×・大学/短大×
- 金融機能：郵便局○
- 文化機能：図書館○・記念館/博物館×・美術館×

⇒市窓口や公民館はあるが、スーパーや診療所等の日常生活に必要な都市機能が揃っていないほか、高齢者福祉施設・障害者福祉施設も整っていない。

### 【拠点の特徴】

中心市街地から離れており、人口・都市機能とも少ないが、合併以前からの旧市街地で、周辺農村部の地域コミュニティの拠点となっている。

【区域分類】 ⇒ 地域核拠点（郊外型）



### 凡例

#### 医療機能

- 病院
- 診療所

#### 介護福祉機能

- 高齢者福祉施設
- 障害者福祉施設

#### 教育機能

- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 大学短大
- その他

#### 商業機能

- ★ スーパー
- ★ 百貨店
- ★ 寄合百貨店
- ★ 専門店
- ★ スーパー・専門店

#### 行政機能

- 市の窓口
- 道の窓口
- 国の窓口
- 警察署
- 消防署
- 公的集会施設

#### 金融機能

- 郵便局

#### 文化機能

- ▲ 文化施設

#### 子育て支援機能

- 保育所
- 幼稚園等

#### 用途地域

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域

- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

- 地域核拠点

## ⑨神居地域核拠点

### 【拠点の範囲】

神居十字街付近の交差点を中心とした徒歩圏内（半径500m程度）で、交差点付近の近隣商業地域、環状1号線沿道の準住居地域、神居旭山通沿道の準住居地域・第1種住居地域を基本とした、神居支所・公民館、市営住宅を含み、神居小・中学校が隣接する範囲。

### 【拠点の現状】

#### 【交通】

- 旭川駅までの所要時間：15～30分
- 路線バス：22系統・運行190本・1時間当たり11.2本
- 都市間バス：なし
- JR：なし

⇒公共交通は路線バスのみであるが、系統数・運行本数とも多く、地域交通の拠点となっている。

#### 【人口】

- 地域内人口：現在(H22) 33,089人 ⇒ 将来(H47) 20,090人
- 増減率(H47/H22)：60.7%
- 従業員人口(H26)：9,063人
- 昼間人口相当率(従業員人口/地域内人口)：27.4%

⇒地域内人口が比較的多いが、新興住宅地が少なく、人口減少は比較的進む。就業地の有無の目安となる昼間人口相当率は他地域と比べ標準的である。

#### 【機能】 ※○：拠点内にあり ×：拠点周辺になし △：拠点に近接

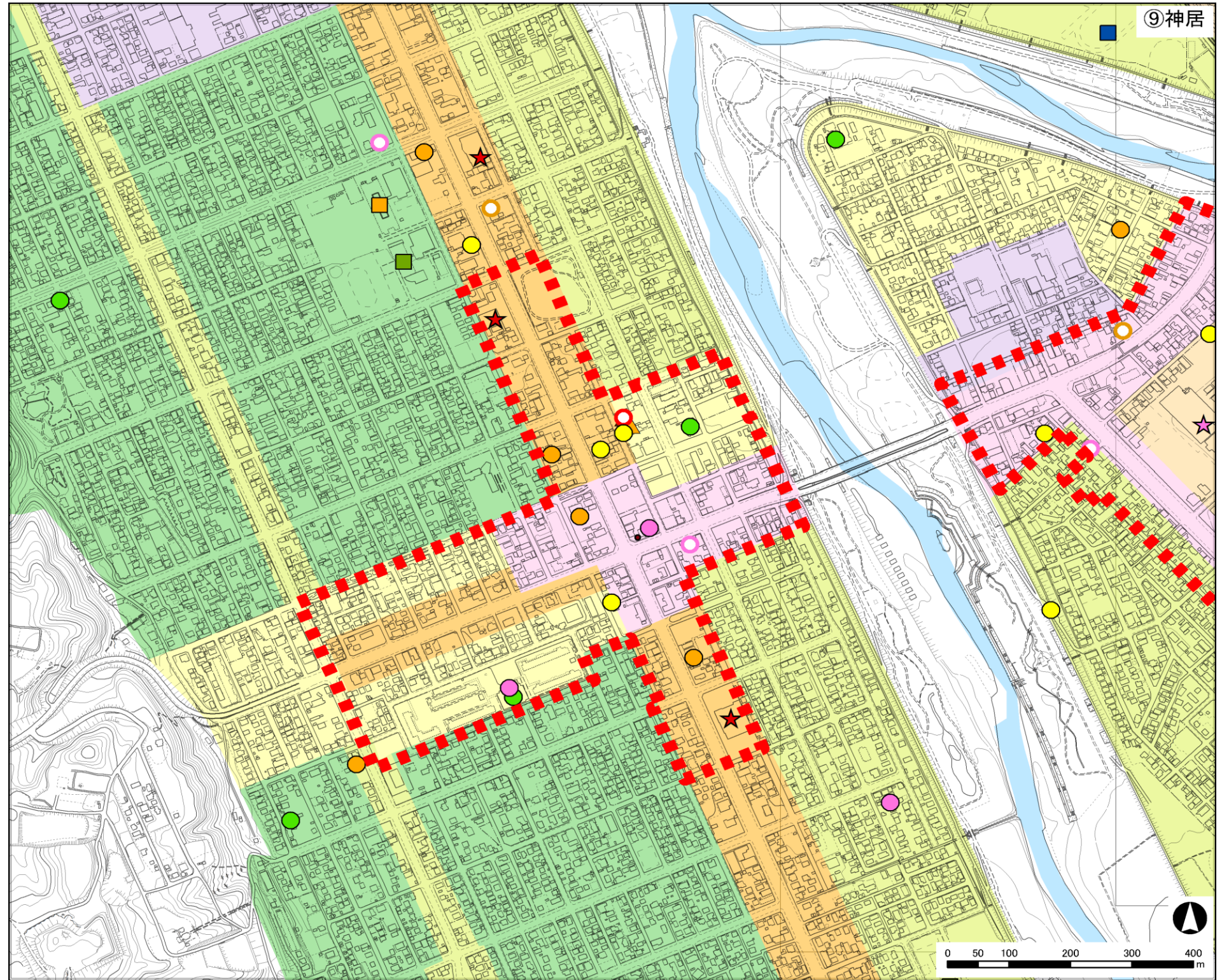
- 医療機能：病院×・診療所○
- 介護福祉機能：高齢者福祉○・障害者福祉○
- 子育て支援機能：保育所等○
- 商業機能：スーパー○・百貨店×
- 行政機能：市窓口○・道・国窓口×・公民館/地区センター○  
：警察署/交番△・消防署/出張所×
- 教育機能：小学校△・中学校△・高等学校×・大学/短大×
- 金融機能：郵便局○
- 文化機能：図書館○・記念館/博物館×・美術館×

⇒日常生活に必要な都市機能が揃っており、拠点中心部に各種施設が集積している。

### 【拠点の特徴】

中心市街地から比較的近く、合併以前からの旧市街地で、都市機能や公共交通が充実しており、周辺の既成市街地や市街地縁辺に広がる低層住宅地の生活拠点及び地域コミュニティの拠点となっている。

【区域分類】 ⇒ 地域核拠点（一般市街地型）



### 凡例

医療機能	教育機能	商業機能	行政機能	金融機能	文化機能	子育て支援機能	用途地域	近隣商業地域
● 病院	■ 小学校	★ スーパー	○ 市の窓口	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育所	■ 第一種低層住居専用地域	■ 近隣商業地域
● 診療所	■ 中学校	★ 百貨店	○ 道の窓口	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	■ 第二種低層住居専用地域	■ 商業地域
● 高齢者福祉施設	■ 高等学校	★ 寄合百貨店	○ 国の窓口	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	■ 第一種中高層住居専用地域	■ 準工業地域
● 障害者福祉施設	■ 大学短大	★ 専門店	○ 警察署	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	■ 第二種中高層住居専用地域	■ 工業地域
	■ その他	★ スーパー・専門店	○ 消防署	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	■ 第一種住居地域	■ 工業専用地域
			▲ 公的集会施設	○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	■ 第二種住居地域	
				○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等	■ 準住居地域	
				○ 郵便局	▲ 文化施設	● 保育園等		■ 地域核拠点